

奥河内・河内長野の紅葉狩り

第211回 くらわん会例会 2013/12/3 (火)



<行程> 南海高野線・河内長野駅 ⇒ 長野公園 (集合・朝会) ⇒ 観心寺 (拝観・休憩)
⇒ 延命寺 (拝観・昼食) ⇒ 南海高野線・三田市町駅 (解散)
<歩行距離> 約8km <参加者> 92名

☆ 南海高野線・河内長野駅 ⇒ 長野公園 (朝会)



2013年最後の「くらわん会」は、京阪電車沿線からは離れて、通称奥河内・河内長野の紅葉狩りを楽しむ。



河内長野市は、岩湧山などの大自然、観心寺や金剛寺、そして高野街道などの歴史的価値のある史跡や建造物が残るほか、楠木氏ゆかりの地としても知られており、大阪府内で3番目に広い面積を持っており、面積の7割は森林である。



絶好のハイキング日和であるが、京阪・枚方市駅から1時間半近い遠隔地のためか、参加者は92名と平均よりは少ない。本日の朝会場所は、河内長野駅から約15分の小山にある長野公園。



ここまで皆様もう結構歩いた気分になっている。落葉も少し見られるが、この辺りの紅葉は枚方市街地よりは未だ美しい。

市街地を俯瞰できる公園山上で朝会が始まる。恒例の多数回参加表彰では、150回参加1名、100回参加3名と例月平均より多くの方が表彰されている。(右中2枚)

本日のコースリーダーである井之上さんから丁寧なコース説明を受けた後、(やや起伏も距離もあるコースということで)枚方北支部の中島インストラクターの指導で、入念にストレッチ体操を行い、2班に分れての出発となる。

☆ 観心寺 (拝観、休憩)



ゆるやかな起伏のある国道310号線を行進、丸山展望台付近で小休止を取り、途中の紅葉を愛でながら、出発から約1時間を経て観心寺へ到着。



観心寺は高野山真言宗の寺院。山号を檜尾山と称し、本尊は如意輪観音、開基(創立者)は空海の一弟子の実恵である。奥河内の観光地の一つ。また観心寺は楠木氏の菩提寺であり、楠木正成および南朝ゆかりの寺としても知られている。

観心寺には、国宝や重要文化財が沢山あるが、時間の関係もあり内部拝観はせず、山門前での休憩のみとなったが、新西国霊場の一寺院であり、社務所で御朱印を頂いている方もおられた。



☆ 延命寺（拝観・昼食）



観心寺を出て、起伏もやや多く、うっそうとした杉木立を歩くこと約30分、正午頃に延命寺へ到着。

延命寺も観心寺と同じような設立経緯であるようで、空海が地蔵の石仏を刻んで本尊としたのが始まりとされている。寛永16年（1639年）、この地に生まれた浄厳（じょうごん）が、伽羅山延命寺に寺号を改め、延宝5年（1677年）には、薬樹山延命寺に寺号を改め、本尊も如意輪観音に改められる。



石碑に刻まれた延命寺の上に「薬樹山」とあるが、昔はこの周辺に薬草が多かったことに由来するそうだ。

延命寺は紅葉の名刹としても有名で、樹齢1000年とも言われている巨大なカエデ（もみじ）の老木は「夕照の楓」と称し、大阪府天然記念物に指定されている。



幹は根元の近くで2本に分かれ左右に伸びているが、樹高も低く、苔や着生植物も多く、いかにも古木といった雰囲気がある。



お堂などがある所から階段を登ると延命寺の蓮池があり、夏にはきれいな蓮の花が咲くということで、澄んだ池面に映る景色がとても美しい。この池の周辺で、お楽しみの昼食となる。（右上3枚）。

約1時間の昼食休憩は、飲食懇談だけの方、境内の本堂や毘沙門天等を巡る方、夕照もみじ撮影に専念される方など、人様々である。



☆ 延命寺 ⇒ 南海高野線・三日市町駅（解散）



延命寺から南海電車・三日市町駅までの帰路も、約30分の平坦なハイキングコースになっている。石見川に沿って、竹林やのどかな風景が続く。川のせせらぎを聞きながら、のんびり歩く。

今年は好天に恵まれ、2013年1～12月の年間参加者は1452人（月平均121人）という好記録を達成した。2014年度も例会案内に掲載している様に色々なコースを計画しており、参加者の皆様の健康維持の期待に応えたい。



三日市町駅前解散し、本日のすべての行程を終了。解散時間帯の関係で電車もガラガラ、約2両はくわん会様への貸切状態である。新今宮でJR・環状線へ乗換え、京橋での2次会（反省会）へ向かう。体重は運動で減+飲食で増=現状のまま。

取材：梅原、小郷、吉川、末延、毛利 HP作成：吉川

